

日刊 動労千葉

83. 12. 29

No. 1530

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二七二〇七

1983年を振り返って 最も印象に残るできごとは

11支部の書記長に聞く

※※※

『日刊動労千葉』編集委員会は、一九八三年の闘いを最先頭で担いぬいた十一支部の書記長のみなさんに、次の三つの質問をしてみました。

※※※

1. 一九八三年を振り返って、次の質問にお答え下さい。
世界の出来事のうち、最も印象に残ることは何ですか。そのことについてどう思いますか。
2. 国内の政治情勢で最も印象に残る出来事は何ですか。そのことについてどう思いますか。
3. 国鉄内の問題で最も印象に残ることは何ですか。そのことについてどう思いますか。

木更津支部 書記長 太田 将光

図①

アメリカによるグレナダ進攻が最も印象に残りました。
世界経済の危機と、アメリカによる世界支配の決定的危機のなかで、力による再編を狙った侵略であり、すでにこうした時代が私たちの目前にきていると思います。

図②

ロッキード田中判決を中心とした政治情勢が最も印象に残りました。
自民党金権政治の打破なくして、労働者が労働者らしく生きられる道はないと考えます。
又、中江選挙の勝利に見られるよ

佐倉支部 書記長 田中 龍美

図①

米帝国主義とソ連による、弱小国に対する侵略戦争が各地で行われ、核戦争の危機がせまっていると云えます。
こうした中で、全世界の労働者、人民による反戦、反核という平和運動が高まってきています。こうした情勢のもとで日本の労働者も真の国際連帯をもとめて闘って行かなければならないと思います。

図②

中曽根首相の「不沈空母」「四海峡封鎖」「日米運命共同体」等の各発言は、戦後政治の総決算をかけて、軍事大国化―改憲、侵略戦争への道へとつうに、反戦・反核運動の高揚が確実に進んでいると思います。

図③

国鉄監理委員会の提言、緊急十一項目、既得権剥奪攻撃、春闘方式の決定的敗北という一年間であったと考えます。
いわゆる「赤字」を理由とした国鉄問題に対するキャンペーンには憤りを感じました。
こうした攻撃をはっきりと「第二マル生攻撃」としてとらえ、どう反撃していくのが今、問われていると考えます。
その突破口を「59・2ダイ改」阻止へかけていく決意であります。



結成5周年を目前にした本年は、各支部で家族会の結成が精力的に進められた。



⑤写真でみる動労千葉の闘い
各支部で家族会を結成



レーガン来日阻止羽田現地闘争に270名で決起した動労千葉。 11月9日